

たまがわ びと

特別
寄稿

「エコ・たまがわ」100号に寄せて



福田 のりひこさん
(川崎市長)

大正13年に誕生した本市は、産業都市として急速に発展するとともに、人口も増加し、現在は145万人を擁する利便性の高い都市として発展し、産業、文化芸術、スポーツのまちづくりなど多彩な魅力を持つ大都市へと変貌を遂げるなか、今年度市制90周年を迎えました。

「川崎」という名称の由来は、「川の先」すなわち多摩川の近くに本市の中央が位置していたことにあり、「川先」が現在の「川崎」に変化したもので、多摩川は川崎にとってなくてはならないものであり、多くの恵みをもたらしてきた「母なる川」であります。

私が子どもだった高度成長期には、多摩川への生活排水の流入などで水面には洗剤の泡が浮かび、多くの生き物たちが姿を消しました。しかし、環境対策や下水処理場の整備など行政の対策が進み、また、市民団体などの多くのみなさまが、河川環境の改善に向けた取り組みを行ってくださった結果、現在ではたくさんのアユや生き物たちが多摩川に戻ってくるようになりました。

皆さんもぜひ、多摩川に出かけて、水と緑にあふれた自然を体いっぱい感じてみてください。

そして、次の世代のために、今よりもさらに親しみのある、すてきな多摩川となるように一緒に育んでいきましょう。



※「たまがわびと」は多摩川流域の水と緑に深く関わっている方から、お話を伺うコーナーです。

第11回

多摩川桜のコンサート

2015年4月4日(土)12:00~15:00

第一部

和太鼓「里空」+篠笛「せせらぎ」
幼児サロンリトミック

J&S陽だまりコンサート 他合唱団
川崎市立稲田中学校校チアダンス部

第二部

川崎の歌姫

桜井 純恵
(キーボード 上田 早智子)



主催:川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課
NPO法人多摩川エコミュージアム

主催:平瀬川流域まちづくり協議会

第19回

平瀬川桜祭りと鮎の放流会

2015年4月19日(日)9:00~11:00

平瀬川蔵敷親水広場(宮前区菅生)にて

自由参加 子ども中学生:無料
大人:参加協力金1000円(焼きそば、飲み物付)
菅生中学校吹奏楽部、和太鼓、ダンスなど

